

# 平成 29 年度 第 6 回 理事会議事録

日時：平成 29 年 10 月 24 日（火）19：30～20：45

場所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、磯野、高村、三科、北山、名取、  
古屋、井村、大西、有泉

(部長) 小林泰、入倉

(幹事) 谷村、齋藤

書記：笹本

## 会員管理情報

慶事 0 件 弔事 1 件 施設数 126

会員数 887 名 (施設 827 名 自宅 60 名)

### I. 審議事項 (全 2 題)

1. JIMTEF アドバンスコースへの参加について：災害対策委員会 (代理 有泉局長)

- ・今後は 2 名の方が中心となった研修会の開催を検討。
- ・災害は士会からも委員を出す事業である。何名か委員がいないと今後事業が難しい。→承認となる。

2. 事務員の給与改定及び事務員の募集方法について：事務管理局 (有泉局長)

- ・野呂瀬事務員の月平均勤務時間は約 4 時間となっている。
- ・保険の関係もあり、週 20 時間以内の勤務となる。
- ・士会員の中で、施設等勤務している自宅会員の方がいる。実態と登録状況では乖離はある。
- ・他の士会の事務員の時給は、PT：1200～1400 円、一般：1000 円～1200 円。パートは賞与無しとなっていた。

→まずは自宅会員に文書を発送し、約 1 ヶ月様子を見て反応がなければ、一般の方に募集をかける。年明けから研修、4 月の年度初めから業務を行う方針。

### II. 報告事項 (全 15 題)

#### 1. 各種委員会報告

- ・地域支援事業推進委員会 (小林会長)  
都道府県 地域包括ケアシステム推進研修会について。

茨城のシルリハの研修会は、終了賞の授与を知事が行うなど、システムのにも考えている。

研修のワンステップは、会員全体 8 万人のうち 8 千人しか受けておらず、山梨も 1 割程度である。ツーステップ、スリーステップは各県進んでいないのが現状。

- ・訪問理学療法委員会 (小林委員長、小林会長)

14 日 15 日に実務者会議に参加した。1 日目はジンプジウム・グループワーク、2 日目は事例検討。各日も参加者は約 20 名。次回の理事会で報告をする。

- ・災害対策委員会 (三井委員長、小林会長、有泉局長)  
10 月 30 日竜王リハで委員会開催予定。県と JRAT との

委託契約について、最終的な詰め段階にきている。

- ・特別支援教育委員会 (有泉局長)  
合同セミナーの開催について 現在検討中。
- ・やまなしリハ - ケア委員会 (小林会長)  
11 月 1 日に「医療と介護の連携」の研修会を行う。講師はケアマネ協会の鷺見会長。講義と 3 事例を通した研修会を行う予定。
- ・選挙管理委員会 (有泉局長)
- ・表彰委員会 (有泉局長)  
ともに報告なし
- ・関東甲信越ブロック学会会議：女性理学療法士の会 (小林会長、)  
女性だけの問題ではなく、ワークライフバランスの観点のもと働きやすい職場にしていく必要がある。士会の委員会として今後検討していきたい。

#### 2. 社会局委託事業部 (古屋局長)

「いきいき山梨ねりんピック 2017」への出展について

- ・今までは、2 ステップテスト、片脚立ち上がりテストを行っていたが、ブース内が煩雑になり転倒の危険性があつたこと、来場者と話をする場がなかったことから、今年度は立ち上がりテストのみとし、来場者と話し場を設けて普及啓発を行った。

#### 3. 社会局スポーツ PT 部 (古屋局長)

- ・Jr テニス大会への参加、県外 PT も研修という形で 16 名参加、・スポーツ PT 勉強会 10 月 23 日実施、・国体スケートへの対応は継続中。
- ・スポーツ PT 部への出向依頼について、HP の文章内容は、事務管理局と相談していく。

#### 4. 学術局学術集会部 (菊池局長)

第 2 回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会準備の進捗状況について

- ・勤務表が 1 ヶ月前なので、その影響のためか、事前登録は全体で 100 名弱と伸び悩んでいる。
- ・三士会で認知症のパンフレットを作成した。来年度、普及啓発や研修を進めていく委員会を立ち上げる方向でいる。→承認となる。委員の選定をしていく。

#### 4. 国会見学会・日本理学療法士連盟懇親会・研修会参加報告について (入倉部長、小林会長)

- ・精神疾患は高齢化や引きこもり等で廃用がみられるため、PT も精神分野に参入した方が良いのではないかと提案があつた。
- ・診療報酬改定は、厳しい内容になりそうである。
- ・佐々木先生が協会理事を退職され、厚生労働省の医政局へ 2 年間出向することとなる。
- ・3 年後の参院議員選で田中先生 (日本理学療法士連盟会長) が立候補予定。山口先生は退任すると話があつた。

た。

## 5. 事務管理局（有泉局長）

### ①PT 損害賠償保険について

- ・協会が加入している賠償保険（人に対してのみ最大 300 万円の補償）では、損害賠償に対して賄えない可能性がある。
- ・士会が加入している保険会社に損害賠償請求に対応した保険はないか問い合わせたところ、保険会社単体でそのような保険を対応している所は無いと回答があった。
- ・神奈川県士会でも同様の検討がされたが、協会の保険があるのに、士会で保険に加入する必要があるのかとの話になったと情報あり。
- ・社協のボランティア保険にその事業毎に加入することも一つの選択肢ではある。
- ・士会員へ協会の個人で加入する任意の保険について、周知して加入を促す必要がある。

→HP 等を利用して会員へ現在の状況を周知し、積極的な加入を促していく。

②自民党県連から、中谷氏推薦のお礼状が届いた。

③会費未納者について、31 名（うち 1 名東京都市会に異動しており、対応した）、新人資格停止 3 名。

## 6. その他

・士会長会議があった。学校教育について、4 年制大学・大学院の教育の方向にしていく。単位は現在 98 単位だが、柔整は 110 ぐらいなので、今後は 4 年間 103 単位以上を検討している。

生涯教育について 1 月 13 日に関プロで委員会が開かれるため通知が行く。これから 5~10 年からにかけて新プロのベース、認定理学療法士、専門理学療法士の制度が変更していく予定。いずれは看護師の認定制度にならい、診療報酬に差をつけていく。日本医師会等と連携して認定制度を作っていく。免許の更新制も視野に法的整備をしていく。

表彰委員会は、医師会は 10 年が経過しないといけない等と基準がある。来年度から理事を 10 年、協会の各委員会を 6 年経験した 55 歳以上の方が対象になる。

・ダイハツとの委託事業について、ダイハツは高齢者が安全に運転するための運動として講習会を実施しており好評だったとのこと。山梨県は甲府市と富士吉田市に営業所があり、富士吉田市の営業所を中心に講習会を市とともに実施予定。近日委託の依頼がくる。ダイハツから事前に資料が届いているので参考にして欲しい。

## III. 次回の理事会日程について

日時 平成 29 年 11 月 28 日（火）19:00~

場所 県士会事務所

連絡 11 月 24 日（金）までに審議事項および資料を事務管理局（有泉理事）へ提出する。  
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。